

陳情第 33号

みんなに喜んで頂けるものをつくろう！！（1）  
次世代のため、地域社会発展に関する陳情書

1 受理年月日 平成28年8月18日

2 陳情者 立川市上砂町1-13-1-11-306  
株式会社 一晋社  
代表取締役 渡邊 義文

3 陳情の要旨

立広聴第254号平成28年8月9日の立川市長 清水庄平の返答についての再度の陳情書

陳情1 何度も言っていますが、立川市の第4次長期総合計画書は「プロの目をごまかし」約10年間～約20年のプレゼンがない。平成28年8月31日までに示せ。

陳情2 平成22年6月閣議決定の環境未来都市構想を知らないこと。

陳情3 平成25年9月13日付総務省自治税務局、市町村税課「ふるさと納税」事務連絡の本質を知らないこと（当社はその内容を提出済み）

陳情4 2011・3・13・サンデー毎日掲載の東京都24公園赤字ランキングとありますが、立川市の赤字公園、遊休地、休耕地を平成28年8月31日までに示してください。

陳情5 実証されている市、町、村が実在しているところがあります、いかに勉強不足か。

陳情6 人間は「ウソ」をつきますが、「数字」はウソをつかないことを知らないこと。

陳情7 基礎知識がないから応用の第4次長期計画がデタラメであることを正当化している。

陳情8 国策の訪日外国人数1000万人を目指す事が知らないので観光ビジョンがつかれない。

陳情9 「日本版DMO」を核とする観光地域づくりに対する支援メニュー集を知らないから、癒しの多摩のようなパンフをつくれない。

陳情10 強い農業づくりを知らないから農家の人達の指導ができない、農業人口の減少以前の問題で当社の総合企画書を大至急実現することです。

陳情11 「地方創生」は旧長岡藩の「米百俵」で証明されているように教育が一番であることを知らないこと。

陳情12 留学制度の充実は、経済で得になり、外交で得になり、教育で得になり、あらゆる分野で得になる。ことを知らないこと。

陳情13 スポーツは世界共通の人類の文化である。ことを知らないこと。

以上の件から、プロの目をごまかし、公の立場で、公の時間で、無駄な時間、無駄な血税を使い、「オレ、オレ、詐欺よりまだ悪い」立川市広報を利用して、立川市民の民意を問うて下さい。正邪がすぐわかります。情報公開して、議会の中にボスをつくらず、若い議員の人達が、次世代のために自由にビジョンを語り、実績を正々堂々と語れるようにすることが一番の近道です。

＜立川市第4次長期計画書は全くデタラメです＞  
責任は誰が取るのですか。

以上